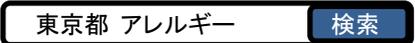


## 東京都アレルギー疾患対策推進計画(概要)

(令和4年3月改定)

<b>施策の柱 I</b> 適切な自己管理や生活環境の改善のための取組の推進	<b>施策の柱 II</b> 患者の状態に応じた適切な医療やケアを提供する体制の整備	<b>施策の柱 III</b> 生活の質の維持・向上を支援する環境づくり
<b>施策1</b> 患者・家族への自己管理のための情報提供等 <ul style="list-style-type: none"> <li>①「東京都アレルギー情報navi.」による情報提供</li> <li>②妊婦及び乳幼児保護者に対するアレルギー情報の発信</li> <li>③アレルギー疾患に関する専門医等による講演会</li> <li>④区市町村が実施する普及啓発への支援・講演会等への専門医等の派遣</li> <li>⑤デジタル技術を活用したアレルギー緊急時対応案内</li> <li>⑥アレルギー疾患対策推進に関する集中的広報展開</li> </ul> <p style="text-align: right;">【保健医療局】</p>	<b>施策6</b> 医療従事者の資質向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>①医師、歯科医師向け研修等の実施による専門的な知識の普及と技能の向上</li> <li>②専門的なアレルギー疾患医療の提供が可能な医師、歯科医師の育成</li> <li>③薬剤師、看護師、栄養士等に対する研修の実施</li> <li>④救急隊員に対する、アレルギー症状への対応及び自己注射が可能なアドレナリン製剤の取扱いについての教育</li> <li>⑤医療従事者に対するアレルギー疾患医療に関する最新の知見等の情報提供</li> </ul> <p style="text-align: right;">【保健医療局、東京消防庁】</p>	<b>施策9</b> 多様な相談に対応できる体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>①患者やその家族の支援に携わる関係者等に対する、相談のノウハウや実技などを内容とした研修等の実施</li> <li>②保健所等における、アレルギー疾患の予防や管理、室内環境の改善等に関する相談への対応</li> <li>③保健所や区市町村の保健師・栄養士等の職員等に対する技術的助言</li> <li>④区市町村が実施するアレルギー相談事業への支援</li> <li>⑤国が実施しているアレルギー相談事業や患者家族会とも連携した、多様な相談への対応</li> </ul> <p style="text-align: right;">【保健医療局】</p>
<b>施策2</b> 大気環境の改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>①大気汚染物質の排出削減に向け、指導、審査、立入検査を実施するとともに自主的な取組を促進</li> <li>②ZEVを含む低公害・低燃費車の導入に対する助成、ディーゼル規制などによる自動車排出ガス削減対策</li> <li>③大気汚染物質の常時測定・監視、公表</li> </ul> <p style="text-align: right;">【環境局】</p>	<b>施策7</b> 医療提供体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>①幅広い診療領域に対応可能な拠点病院・専門病院の指定、専門的なアレルギー疾患医療を提供する医療機関のネットワークを強化</li> <li>②拠点病院・専門病院と地域の医療機関が円滑に連携できる体制の構築</li> </ul> <p style="text-align: right;">【保健医療局】</p>	<b>施策10</b> 社会福祉施設や学校等職員の緊急時対応力の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>①社会福祉施設や学校等の職員に対する、ぜん息発作やアナフィラキシー症状が起きた時などの緊急時対応のための研修の実施</li> <li>②デジタル技術を活用したアレルギー緊急時対応案内(再掲)</li> <li>③学校の教職員に対する、アレルギー対応に関する知識の習得のための研修の実施</li> <li>④心肺蘇生法及びAEDの使用方法についての、応急救護訓練及び救命講習等の実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">【保健医療局、教育庁、東京消防庁】</p>
<b>施策3</b> 花粉症対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>①スギ・ヒノキ林の伐採、花粉の少ないスギへの植替、伐採木材の利用促進</li> <li>②針葉樹と広葉樹の混交林化による花粉飛散の削減</li> <li>③花粉の飛散状況の継続的な観測、解析、情報提供</li> </ul> <p style="text-align: right;">【産業労働局、環境局、保健医療局】</p>	<b>施策8</b> 医療機関に関する情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>①アレルギー疾患診療を実施する医療機関の所在地や診療時間等の情報提供</li> <li>②専門的な医療機関に関する情報提供(「東京都アレルギー情報navi.」)</li> </ul> <p style="text-align: right;">【保健医療局】</p>	<b>施策11</b> 事故防止・緊急時対応のための組織的取組の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>①「学校給食における食物アレルギー対応指針」(文部科学省)等に基づいた、各学校における事故予防と緊急対応に関する体制づくりの推進</li> <li>②社会福祉施設や学校等における緊急時の組織的な対応のための体制整備への支援</li> <li>③社会福祉施設や学校等と医療機関などとの連携体制を構築するために、区市町村が行う取組等への支援</li> </ul> <p style="text-align: right;">【保健医療局、福祉局、教育庁、生活文化スポーツ局】</p>
<b>施策4</b> アレルゲン表示など食品に関する対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>①食品の製造・販売事業者等の監視指導によるアレルゲン表示の適正化、講習会等による普及啓発</li> <li>②製造段階における意図しないアレルゲンの混入防止のための食品製造業に対する監視指導、アレルゲン検査</li> <li>③アレルゲン表示違反による自主回収情報の提供</li> <li>④飲食店等における利用者へのアレルゲンに関する適切な情報提供の支援</li> </ul> <p style="text-align: right;">【保健医療局】</p>	<p>計画の全文は、東京都アレルギー情報navi.で閲覧できます。  <a href="https://www.hokeniryo1.metro.tokyo.lg.jp/allergy/">https://www.hokeniryo1.metro.tokyo.lg.jp/allergy/</a></p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>イメージキャラクター「きいちゃん」</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div>	<b>施策12</b> 災害時に備えた体制整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>①都民や関係機関職員に対する、平常時からの災害への備えや災害発生時における対応についての普及啓発</li> <li>②避難所運営に関わる方に対する、避難所におけるアレルギー対応に関する準備等への支援</li> <li>③アレルギー児用調製粉乳やアレルギーに配慮した食料の備蓄</li> </ul> <p style="text-align: right;">【保健医療局、福祉局】</p>
<b>施策5</b> 生活環境が及ぼす影響に関する知識の普及等 <ul style="list-style-type: none"> <li>①生活環境が疾患に及ぼす影響についての最新の知見やデータを踏まえた普及啓発</li> <li>②アレルゲンや増悪因子の除去・軽減対策に関する情報提供等</li> </ul> <p style="text-align: right;">【保健医療局】</p>		

## 施策の柱 I (施策1～5) 適切な自己管理や生活環境の改善のための取組の推進

施策

取組状況

### ○東京都アレルギー情報naviによる情報提供

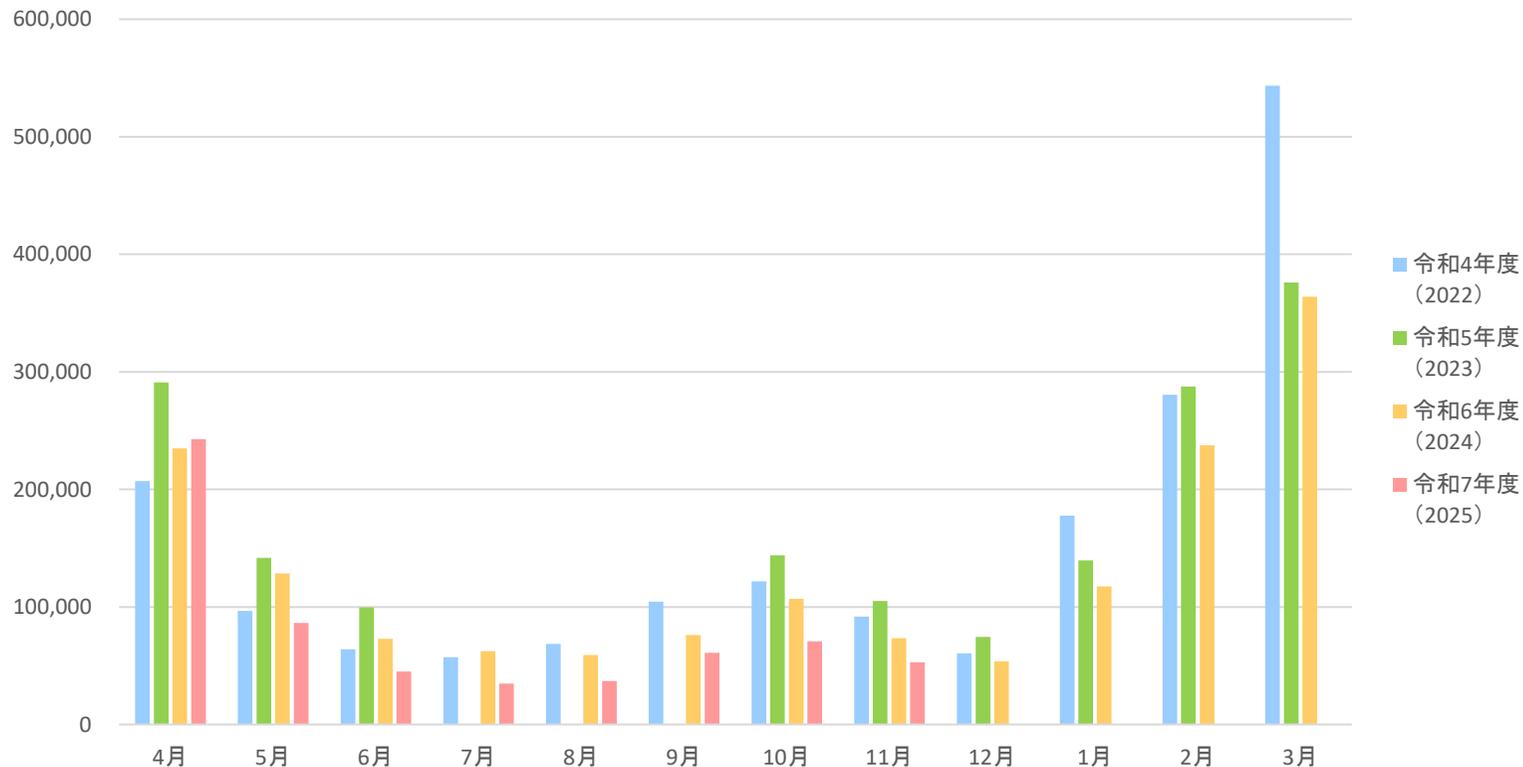
- ・アレルギー疾患に関する基礎的知識、花粉の飛散予測・飛散状況等の情報、研修、講演会等の情報、医療機関の情報
- ・掲載内容の医学的監修  
「食物アレルギー」

### ※参考: アクセス状況

＜表示回数の推移＞

※Googleアナリティクス導入: R3年度5月

※Googleアナリティクスのバージョンアップにより、R5年度7月～9月集計できず



患者・家族への自己管理のための情報提供等

## 施策の柱 I (施策1～5) 適切な自己管理や生活環境の改善のための取組の推進

施策	取組状況
患者・家族への自己管理のための情報提供等	<p>&lt;よく閲覧されているページ(花粉以外のページ)&gt; (令和7年4月1日～令和7年12月31日)</p>
	<p>エピペンの使い方・保育施設等向け食物アレルギー 緊急時対応ガイドンス</p>
	<p>「成人で食物アレルギーと診断された42歳女性」の場合</p>
	<p>1「薬(ステロイド軟こう)を使用しても良くならない成人アトピー性皮膚炎」の場合</p>
	<p>緊急時対応(食物アレルギー)</p>
	<p>東京都発行(アレルギー疾患関連)</p>
	<p>よくある質問・アトピー性皮膚炎</p>
	<p>医療関係者向けトップページ</p>
	<p>よくある質問・成人のぜん息</p>
	<p>基礎知識・食物アレルギー</p>
	<p>基礎知識・アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、花粉症</p>
	<p>食物アレルギー(基礎知識、対応・対策、よくある質問、ガイドライン・出版物の・・・)</p>
	<p>関係者向けWEB研修(緊急時対応WEB研修)</p>
	<p>症状チェックシート・保育施設等向け食物アレルギー緊急時対応ガイドンス</p>
	<p>食物アレルギー緊急時対応ガイドンス</p>
	<p>医療機関情報</p>
	<p>初動・保育施設等向け食物アレルギー緊急時対応ガイドンス</p>
	<p>緊急性の判断・保育施設等向け食物アレルギー緊急時対応ガイドンス</p>
<p>アレルギー性鼻炎・アレルギー性結膜炎・花粉症(基礎知識、対応・対策、・・・)</p>	
<p>よくある質問・食物アレルギー</p>	
<p>2「複数のナッツ除去からクルミの治療開始に至った例」</p>	

施策の柱 I (施策1~5) 適切な自己管理や生活環境の改善のための取組の推進

施策

取組状況

○妊婦・乳幼児保護者に対するアレルギー情報の発信

- ・都内区市町村に対し、母子健康手帳交付時等にシール配布を依頼  
(配布数: 約7万部)
- ・拠点・専門病院に対し、受診者等へのシール配布を依頼
- ・ランディングページ(特設ページ)に誘導し、乳幼児のアレルギーに関する情報を普及啓発
- ・今年度シールデザインをリニューアルし、東京都アレルギー情報navi.への誘導を促進



R7年度シールデザイン



ランディングページ  
(こどものアレルギーに関する特設ページ)

患者・家族への自己管理のための情報提供等

東京都アレルギー疾患対策推進強化月間中(2/1~2/28)の取り組み

○都民向けアレルギー講演会 (動画配信: 2/2~3/2予定)

「特殊な食物アレルギー  
~近年急増している食物蛋白誘発胃腸炎(FPIES)について~」

講師: 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター  
免疫アレルギー・感染研究部 部長 森田 英明 氏



講演会ポスター

施策の柱 I (施策1~5) 適切な自己管理や生活環境の改善のための取組の推進

施策

取組状況

東京都アレルギー疾患対策推進強化月間中 (2/1~2/28) の取り組み

患者・家族への自己管理のための情報提供等

○アレルギー疾患対策推進に関する集中的広報展開(予定)

- ・1/20に東京都アレルギー疾患対策推進強化月間について報道発表(参考資料4)
- ・都民向け講演会の動画配信、キーワード連動型広告、デジタルサイネージ・街頭ビジョンへの動画掲出、都庁第一本庁舎1階にパネル掲示
- ・月間特設ページの開設(講演会、妊婦・乳幼児保護者向け情報、花粉症対策、東京都や区市町村の取組など)



サイネージ型スマートポール(R6年度)



デジタルサイネージ動画



キーワード連動型広告(イメージ)

花粉症対策の推進

○花粉の飛散状況等の観測、解析

- ・スギ・ヒノキ等飛散花粉状況の定点観測 (1月から5月前半まで都内12カ所、5月後半から11月まで都内9カ所)
- ・飛散開始時期等に関する報道発表、ホームページ等による情報提供

○花粉症に関する情報提供・普及啓発等

- ・「花粉症一口メモ」(パンフレット)の配布(8,000部)
- ・「東京都アレルギー情報navi.」等による情報提供



花粉症一口メモ

## 施策の柱 I (施策1～5) 適切な自己管理や生活環境の改善のための取組の推進

### 施策

### 取組状況

#### アレルゲン表示など 食品に関する対策

- **食品表示法に基づく監視指導（都保健所及び事業所）**  
食品製造業者、食品流通業者、食品販売業者等に対し、延べ76,516件実施（令和7年8月末現在）
- **適正表示推進者育成講習会の開催**  
第1回：令和7年12月16日 登録者<sup>※1</sup> 380名、第2回：令和8年1月7日 登録者 158名  
※1：講習会を受講し、食品の適正表示推進者として新たに登録された者
- **適正表示推進者フォローアップ講習会の開催**  
令和8年2月2日（予定）
- **製造・調理施設の監視指導（都保健所及び健康安全研究センター）**  
食品製造業、給食施設、飲食店等に対し、延べ15,076件実施（令和7年8月末現在）
- **食品のアレルゲン検査（都保健所及び健康安全研究センター）**  
食品製造業、給食施設に対し、乳、卵、小麦アレルゲン検査を39検体実施（令和7年11月末現在）
- **食品表示法に基づく自主回収の届出** 27件（令和7年11月末現在）  
届出<sup>※2</sup>された情報について、国と連携し、消費者に適切かつ速やかに情報提供  
※2：八王子市、町田市を除く多摩地区及び島しょ地区における届出
- **飲食店事業者向け食物アレルギー講習会**  
（動画配信：11/12～11/25）受講者 340名  
専門医や患者団体、事業者団体、消費者庁を講師に招き、アレルギーの基礎知識や事例紹介などをテーマに講習会を開催
- **飲食店事業者向け資料「食物アレルギー対策に取り組みましょう」**  
（コミュニケーションシート付）の周知  
保健所や事業所を通じた飲食店等への配布に加え、多言語コールセンターに登録している事業者やムスリム対応を希望する飲食店向けセミナーで配布



適正表示推進者育成講習会



飲食店事業者向け食物アレルギー講習会周知チラシ



飲食店事業者向け資料

施策の柱Ⅱ（施策6～8） 患者の状態に応じた適切な医療やケアを提供する体制の整備

施策	取組状況
医療従事者の資質向上	<p>○「アレルギー疾患治療専門研修」の開催（成人領域）</p> <p>(1)実施機関:慶應義塾大学病院 令和7年10月8日(WEB開催) [アレルギー治療の推進に向けた研究]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①重症喘息の治療最適化に向けた研究の未来 講師:慶應義塾大学医学部呼吸器内科 宮田純 氏</li> <li>②アトピー性皮膚炎におけるスマホ画像xAI重症度評価ーデジタルバイオマーカーへの展開ー 講師:慶應義塾大学医学部皮膚科助教 雁金詩子 氏</li> <li>③アレルギー研究への患者市民参画の推進 講師:慶應義塾大学医学部皮膚科 専任講師 足立剛也 氏</li> </ul> <p>[基調講演] 東北メディカル・メガバンク計画とアレルギー研究への活用 講師:東北大学東北メディカル・メガバンク機構バイオバンク部門教授・副機構長 泉陽子 氏 東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門准教授 小原拓 氏</p> <p style="text-align: right;"><b>受講者数: 66 名</b></p>
	<p>(2)実施機関:昭和医科大学病院 令和7年12月12日(WEB開催) [喘息、とくに難治例について]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「重症喘息診療の新しいゴール ～臨床的寛解を目指すマネジメント～」 講師:昭和医科大学病院 呼吸器・アレルギー内科 田中明彦 氏</li> <li>②「小児喘息の治療・管理のピットホール」 講師:昭和医科大学病院 小児科 今井孝成 氏</li> <li>③「上気道疾患が下気道に及ぼすImpact」 講師:昭和医科大学病院 耳鼻咽喉科 平野 康次郎 氏</li> <li>④「アレルギー手帳の使い方」「喘息と食物アレルギー・アナフィラキシーの関係性」 講師:昭和医科大学病院 呼吸器・アレルギー内科 鈴木 慎太郎 氏</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>受講者数: 101 名</b></p>

施策の柱Ⅱ（施策6～8） 患者の状態に応じた適切な医療やケアを提供する体制の整備

施策	取組状況
医療従事者の資質向上	<p>○「アレルギー疾患治療専門研修」の開催（小児領域）</p> <p>(1)実施機関:国立成育医療研究センター 令和7年8月28日(WEB開催) [消化管アレルギー・好酸球性消化管疾患の臨床]</p> <p>① 初期症状から重症例まで:新生児・乳児期消化管アレルギーの実臨床 アレルギーセンター総合アレルギー科 神保智里 氏</p> <p>② 心理療法が奏功した難治性再発性好酸球性十二指腸炎の男児例 アレルギーセンター総合アレルギー科 谷口智城 氏</p> <p>[好酸球性消化管疾患と機能性消化管疾患] 順天堂大学医学部小児科学講座先任准教授 工藤孝広 氏</p> <p style="text-align: right;"><b>受講者数:300名</b></p> <p>(2)実施機関:都立小児総合医療センター 令和8年1月21日(WEB開催予定) 「アトピー性皮膚炎診療へのAI活用:デジタルバイオマーカーの実装に向けて」 慶應義塾大学医学部皮膚科 慶應義塾大学病院アレルギーセンター 足立 剛也 氏</p> <p>「小児喘息の評価と治療 ―専門医の視点から―」 福岡市立こども病院アレルギー科 手塚 純一郎 氏</p> <p style="text-align: right;"><b>受講者数:集計中</b></p>

施策の柱Ⅱ（施策6～8） 患者の状態に応じた適切な医療やケアを提供する体制の整備

施策	取組状況
医療従事者の資質向上	<p>○「医療従事者向け研修会」の開催</p> <p>実施機関：東京都医師会                      令和7年11月15日（日） ハイブリッド（WEB・会場）開催＋アーカイブ配信                      「喘息治療 ～現在とこれから～」                      講師：慶應義塾大学病院 病院長 福永 興吉 氏 <b>申込数：74名（WEB 62名、会場 12名）</b></p>
	<p>○「相談実務研修」の開催（薬剤師、看護師、栄養士等向け）（動画配信：1/7～3/2）</p> <p>(1) 子供のアレルギー疾患に関する相談実務研修（規模 各300名）</p> <p>①「小児ぜん息の基礎知識Q&amp;A（災害対応を含む）」                      講師：公立昭和病院 小児科・感染管理部 担当部長 大場 邦弘 氏 <b>申込数：696名</b></p> <p>②「アトピー性皮膚炎の基礎知識と最新治療」                      講師：国立成育医療研究センター アレルギーセンター センター長 福家 辰樹 氏 <b>申込数：686名</b></p> <p>③「食物アレルギー・食物蛋白誘発胃腸炎」                      講師：国立成育医療研究センター アレルギーセンター総合アレルギー科 豊國 賢治 氏 <b>申込数：788名</b></p> <p>(2) 成人のアレルギー疾患に関する相談実務研修（規模 各100名）</p> <p>①「成人ぜん息、吸入療法」                      講師：日本大学医学部 呼吸器内科 兼任講師 伊藤 玲子 氏 <b>申込数：58名</b></p> <p>②「成人のアレルギー性鼻炎、花粉-食物アレルギー症候群」                      講師：国家公務員共済組合連合会東京共済病院 耳鼻咽喉科部長 遠藤 朝則 氏 <b>申込数：87名</b></p>

施策の柱Ⅱ（施策6～8） 患者の状態に応じた適切な医療やケアを提供する体制の整備

施策	取組状況
医療提供体制の整備	<p>○アレルギー疾患医療拠点病院等連絡会の開催                      令和7年11月6日（拠点病院委託（昭和医科大学病院））                      議題：医療連携に関する拠点・専門病院間の情報共有について                      都からの事業説明</p> <p>○アレルギー疾患医療連携事業                      令和4年度実施の『アレルギー疾患医療連携の具体化に向けた検討』で示された、都内の医療連携体制整備に必要な取組を実施 東京都アレルギー疾患医療拠点病院等協力のもと実施</p> <p>(1)アレルギー疾患医療連携ワーキンググループの設置                      第1回：令和7年7月8日、第2回：令和8年2月17日（予定）</p> <p>(2)アレルギー疾患に関する連携医療機関の登録・データベース構築                      連携医療機関登録数：<b>258施設（12月末現在）</b></p> <p>(3)アレルギー疾患医療連携研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回：令和7年7月26日                          慶應義塾大学病院 <b>参加機関数：37施設</b></li> <li>・第2回：令和7年10月16日                          国立成育医療研究センター <b>参加機関数：71施設</b></li> <li>・第3回：令和7年12月6日                          都立小児総合医療センター <b>参加機関数：37施設</b></li> <li>・第4回：令和8年1月22日                          昭和医科大学病院 <b>参加機関数：集計中</b></li> </ul>

施策の柱Ⅱ（施策6～8） 患者の状態に応じた適切な医療やケアを提供する体制の整備

施策

取組状況

(4) アレルギー手帳の配布

紙版のアレルギー手帳・Web版のチラシを連携医療機関に登録した施設に配布  
 ⇒R7. 12～ 東京都アレルギー情報navi.に公開し、希望する医療機関に提供



東京都アレルギー手帳とは

この手帳は、患者さんご自身やご家族によるアレルギー疾患の管理を手助けするため、医療機関の連携促進のためのツールとして、東京都が作成したものです。アレルギー疾患に関する情報を書き留めおき、医療機関の受診時に提示するなどご活用ください。紙版とWebアプリケーション版の2種類をご利用いただけます。紙版とWebアプリケーション版、どちらもご記載いただける項目は同じです。

※対象者は東京都内にお住まいの方になります。



紙版



Web版チラシ  
 (R8.1リニューアル)

医療提供体制の整備

医療機関に関する情報の提供

- 「東京都アレルギー情報navi.」による 都民への情報提供
  - ・アレルギー疾患医療拠点病院等に関する情報の掲載

- 厚労省「医療情報ネット(ナビイ)」による情報提供
  - ・ホームページによりアレルギー疾患の診療を実施している 医療機関に関する情報を提供

施策の柱Ⅲ(施策9～12) 生活の質の維持・向上を支援する環境づくり

施策	取組状況
<p>多様な相談に対応できる体制の充実</p>	<p>○「相談実務研修」の開催（社会福祉施設等職員向け）（動画配信：1/7～3/2）※再掲</p> <p>(1) 子供のアレルギー疾患に関する相談実務研修（規模 各300名）</p> <p>①「小児ぜん息の基礎知識Q&amp;A(災害対応を含む)」                      講師：公立昭和病院 小児科・感染管理部 担当部長 大場 邦弘 氏 <b>申込数：696名</b></p> <p>②「アトピー性皮膚炎の基礎知識と最新治療」                      講師：国立成育医療研究センター アレルギーセンター センター長 福家 辰樹 氏 <b>申込数：686名</b></p> <p>③「食物アレルギー・食物蛋白誘発胃腸炎」                      講師：国立成育医療研究センター アレルギーセンター総合アレルギー科 豊國 賢治 氏 <b>申込数：788名</b></p> <p>(2) 成人のアレルギー疾患に関する相談実務研修（規模 各100名）</p> <p>①「成人ぜん息、吸入療法」                      講師：日本大学医学部 呼吸器内科 兼任講師 伊藤 玲子 氏 <b>申込数：58名</b></p> <p>②「成人のアレルギー性鼻炎、花粉-食物アレルギー症候群」                      講師：国家公務員共済組合連合会東京共済病院 耳鼻咽喉科部長 遠藤 朝則 氏 <b>申込数：87名</b></p> <p>○研修資料や普及啓発資料等を用いた技術的助言の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急時対応マニュアル等の配布</li> <li>・ 都民向けリーフレットの作成・配布</li> </ul>

施策の柱Ⅲ(施策9～12) 生活の質の維持・向上を支援する環境づくり

施策

取組状況

- 「ぜん息・食物アレルギー緊急時対応研修」の開催（規模 各500名）
  - 『アナフィラキシーの基礎知識と緊急時対応』、『エピソードレーナーを用いた実技練習』
  - (1)学童期の子供を預かる施設向け
    - 令和7年11月28日(会場開催) **受講者数：288名**
  - (2)保育施設向け
    - 令和7年12月12日(会場開催) **受講者数：121名**
    - 講師：(1)(2)ともに東京都立小児総合医療センターアレルギー科  
(医師)梶田 直樹 氏 (PAE) 山野 織江 氏、井上 三奈枝 氏

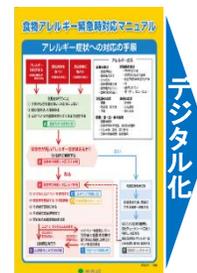
○デジタル技術を活用した緊急時対応ガイダンス

社会福祉施設や学校等職員の緊急時対応力の向上

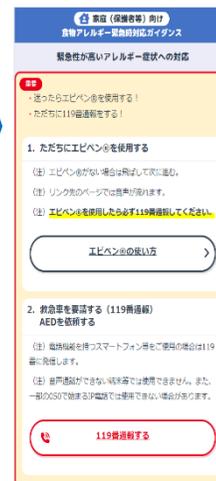
**【概要】**  
音声・動画等を活用し、スマートフォン等で直感的にわかりやすく操作できる『緊急時対応ガイダンス』を「東京都アレルギー情報navi.」に実装(R6年度)

**【目的】**  
アナフィラキシー発生時に必要な対応について、デジタル技術を活用して案内することにより、保育施設等の関係施設や、患者・家族の緊急時対応を支援する。

**【監修】**  
都立小児総合医療センター



※現行マニュアル(紙・PDF)も継続して活用予定



※音声付動画で解説



※スマホからのアクセスで119番通報



施策の柱Ⅲ(施策9～12) 生活の質の維持・向上を支援する環境づくり

施策	取組状況
<p>事故防止・緊急時対応のための組織的取組の促進</p>	<p>○「アレルギー対応体制強化研修」の開催</p> <p>(1)社会福祉施設管理者等の施設向け（規模 500名）                      令和7年11月14日(WEB開催)                      「食物アレルギーの基礎知識と保育所における対応について」                      講師:昭和医科大学病院 小児医療センター長 今井 孝成 氏 <b>受講者数：329名</b></p> <p>(2)区市町村職員向け（規模 各30名）</p> <p>①母子保健・給食施策に関わる職員向け                      令和7年11月6日(WEB開催)                      「食物アレルギーの食事管理・離乳食の進め方」                      講師:昭和医科大学 医学部 小児科学講座 長谷川 美穂 氏 <b>受講者数：64名</b></p> <p>②保育主管課等職員向け                      令和7年11月21日(WEB開催)                      「アレルギーを持つ子どもとその家族を支えるための最新知識と実践ガイド」                      講師:さいわいこどもクリニック 古川 真弓 氏 <b>受講者数：67名</b></p> <p>○ 研修資料や普及啓発資料等を用いた技術的助言の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急時対応マニュアル等の配布</li> <li>・ 都民向けリーフレットの作成・配布</li> </ul>
<p>災害時に備えた体制整備</p>	<p>○「東京都アレルギー情報navi.」による災害発生時の対策に関する情報提供</p> <p>○「ぜん息・食物アレルギー緊急時対応研修」会場に災害対策関連資料等の展示及び研修資料に情報掲載</p> <p>○ 都・各区市町村の地域防災計画等の内容確認及び助言</p>

## 施策展開の土台

## 施策を推進するための取組

施策	取組状況
<p>施策展開の基礎となる調査等の実施</p>	<p>○乳幼児に関するアレルギー調査の実施(5年毎)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「アレルギー疾患に関する3歳児調査」(R6年度)</li> <li>・「アレルギー疾患に関する施設調査(保育施設、学童保育)」(R6年度)</li> </ul> <p>○アレルギー疾患医療に関する調査の実施(5年毎)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「東京都アレルギー疾患医療実態調査」(R7年度)</li> </ul>
<p>専門的知見等を取り入れた対策の検討等</p>	<p>○アレルギー疾患対策検討部会 第1回:6月27日、第2回:9月10日、第3回:12月17日、第4回:3月4日(予定) 【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度アレルギー疾患対策事業について(東京都健康安全研究センター)</li> <li>・令和6年度アレルギー疾患に関する調査結果について(拡大部会)</li> <li>・東京都アレルギー情報navi.の監修について(食物アレルギー、事例)</li> </ul> <p>○アレルギー疾患医療拠点病院等検討部会 11月5日 【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度拠点・専門病院診療等実績について</li> <li>・アレルギー疾患医療拠点病院等連絡会について</li> </ul> <p>○アレルギー疾患医療拠点病院等連絡会の開催 11月6日 【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療連携に関する拠点・専門病院間の情報共有について</li> <li>・都からの事業説明</li> </ul>